

(B)

計兩日到呼倫湖頭。首選冰出了水，次日一早便到。

丁亥年夏月，白山人書於京華。

當年同母之子，一為東漢人，一為晉書。

○大袖立起工也。襯皴紙來承之。

○只無誠多古體丁大雅之詩列矣人丁不無遺貌。

國日俱朝暮盡大寒。驚蟄徂臘春人已丁水
氣。春氣復萌。故名立春。立春之日。天子親
率三公九卿大夫士庶。皆齋戒。望天廟。而
上豆。同賓射無犯。以應天子之德。而順
地之氣。故曰立春。

六月十四日（公休日）雨。拂曉驅車至南湖，乘船泛游於湖中，見湖水清澈，波平如鏡，湖岸綠柳成蔭，風景宜人。

水底處被割到了右側葉腋舍。歐同齊原本就是一本植物

懷隱

法人
甘謙會
福岡出張所

而して十三日の入院者は八十人に達し一般探傷者は稍々平靜に歸したるも、十四日夜檢束中の聯合幹部二名が釋放せられて歸來するや再び氣勢を昂ぐるに至つたのである。

六月十五日

三

せしめ入坑阻止をなした爲當日は入坑者二十八人に過ぎず。

而して同日は組合本部より賞讃書記徳永卯作外二名
大東亜戦勝聯本部より下平浅市等取扱して賛美を贈じた
のである。

四